

(別添様式3)

研究機関名：熊本大学

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の person 費支出に係る
活用実績報告書 (令和5年度)

1. 実施状況

①事業名	②直接経費から person 費を支出し た、所属 PI の人 数 (人)	③所属する PI につ いて、直接経費から 支出した person 費の総 額 (円)	④所属する PI につい て、直接経費から person 費 を支出したことにより確 保した財源の総額 (円)
エイズ対策実用化研究事業	2	1,620,373	1,620,373
医療分野国際科学技術共同 研究開発推進事業	1	1,840,747	1,840,747
革新的先端研究開発支援事 業ソロタイプ	3	2,872,000	2,872,000
肝炎等克服実用化研究事業	2	3,221,828	3,221,828
橋渡し研究プログラム	1	1,515,942	1,515,942
再生・細胞医療・遺伝子治 療実現加速化プログラム	1	2,879,868	2,879,868
再生医療等実用化研究事業	1	3,537,198	3,537,198
循環器疾患・糖尿病等生活 習慣病対策実用化研究事業	1	1,260,000	1,260,000
新興・再興感染症研究基盤 創生事業 (海外拠点活用研 究領域)	1	621,252	621,252
創薬基盤推進研究事業	1	700,000	700,000
難治性疾患実用化研究事業	2	2,659,314	2,659,314
脳とこころの研究推進プロ グラム	1	354,000	354,000
脳とこころの研究推進プロ グラム領域横断的かつ萌芽 的脳研究プロジェクト	1	1,200,000	1,200,000
合計	18	24,282,522	24,282,522

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

研究者に対して、直接経費から人件費として支出した額を、契約の確定時期に従い、半期毎のタイミングで、競争的研究費等獲得手当として支給した。

本手当の支給は、研究者自身の処遇改善へつながり、研究に対するモチベーション向上に寄与した。

※ 他の経費と一体的に活用することも可能です。その場合はどのような経費と併せて何の取組に活用したか分かるように記載してください。

※ 必要に応じて参考資料を添付してください。

3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei